

保健師だより

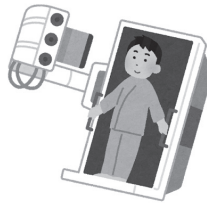
あなたの健康支えます!!

◆◆ 町総合健(検)診のお知らせ ◆◆

対象者の方には、6月中旬に総合健(検)診のお知らせを送りました(黄色の封筒)。
施設健(検)診は、7月1日(火)より開始していますので、受診希望の方は、医療機関に直接お申込みください。
集団健(検)診で受診希望の方は、「集団健診申込書」を7月18日(金)までに健康環境課へ提出してください。
ご家族で同じ日程を希望される場合は、お一人につき1枚申込書に記入し、ホチキスなどでまとめて提出をお願いします。

総合健(検)診通知対象者について、昨年度から一部変更しています。社会保険加入中の方で、昨年度に町の健(検)診受診歴のない方には通知をしていませんが、新たに胃がん検診の対象者となる50歳の方には、加入中の健康保険に関わらず通知しています。

通知の届かない方で、受診希望される方は健康環境課までお問い合わせください。



◆◆ 肝炎ウイルス検査は受けましたか? 7月18日は日本肝炎デー ◆◆

肝臓は「沈黙の臓器」と言われ、肝炎ウイルスに感染しても、ほとんどの場合自覚症状がありません。まだ一度も肝炎ウイルス検査を受けたことがない方は、町の健康診査の中で肝炎ウイルス検査を受けましょう。

肝炎とは…

肝炎ウイルスに感染して、肝臓の細胞が壊れていく病気です。肝炎ウイルスに感染することで慢性的な炎症が繰り返され、肝臓が硬くなり、肝機能も悪化します。進行すれば肝硬変や肝がんの状態になります。

肝がんの原因となるB型・C型肝炎ウイルスの持続感染者は全国に200万人以上いると推計されています。肝がんの原因の約50%がウイルス性肝炎です。



【一生に一度は肝炎ウイルス検査を受けましょう】

- ①検査をできるだけ早く受けてください。もし肝炎ウイルスに感染していても、適切な治療を受けることで、深刻な病状に進行するのを防ぐことができます。
- ②肝炎ウイルス検査は血液検査でわかります。これまでに一度も検査をしたことがない方は、町の健康診査の中で肝炎ウイルス検査を受けることができます。



●問い合わせ先 健康環境課 保健師 ☎ 62-2115

赤十字奉仕団 環境美化活動を実施

町赤十字奉仕団(渡辺啓子会長)は6月16日(月)、町健康福祉センターで環境美化活動を行いました。

当日は団員8名が参加し、強い日差しが降り注ぐなか、建物周辺に設置された5つの花壇へサルビア等の花の定植、敷地内の除草など約2時間作業し、センター周辺を綺麗にしました。



健幸まちづくり事業

医学ひとくちメモ

vol.15



町では昨年度より町民の健康寿命の延伸を目指す事業として、「健幸まちづくり事業」に取り組んでいます。この事業は福島県立医科大学との連携により、健康調査事業や体力測定会、医学講演会を実施しています。先月号に続き、福島県立医科大学保健科学部の先生方より病気についてお話をさせていただきます。皆さんも、このひとくちメモを読んで、身近な病気などについて学んでみましょう。

今月の当番

福島県立医科大学保健科学部理学療法学科助教 ^{たかはし えり} 高橋 恵里 先生



今回は、発達障害(神経発達症)の1つである「**発達性協調運動症**」(Developmental Coordination Disorder: DCD)について説明します。

Q.1 「発達性協調運動症(DCD)ってどんな病気?」

発達障害(神経発達症)の1つです。「不器用」「どんくさい」「運動音痴」などと思われがちですが、本人の努力不足や育て方の問題ではなく、脳機能の障害によるものです。細かい手先の動作(書字やハサミなど)と、全身の運動(ボール投げ、ジャンプなど)のいずれか、もしくは両方で協調運動の問題が生じます。幼少期から症状がみられ、日常生活に支障があることが診断基準に挙げられています。

Q.2 「発達性協調運動症(DCD)の子どもの割合は?」

学齢期の児童・生徒における発達性協調運動症(DCD)の有病率は、5~8%と報告されています。30名クラスを想定すると、1クラスに2名程度の割合になります。女児よりも男児に多くみられます。発達性協調運動症(DCD)はそれほど新しい疾患ではないのですが、それでもまだ医療や専門職の相談・支援に繋がっていないお子さんも多い印象があります。

Q.3 「どんな悩みを抱える子どもが多い?」

字が極端に汚い、マス目やノートの線をはみ出してしまう、箸を上手く使えない、ボールを上手く投げられない、縄跳びができない、自転車に乗れないなどの困りごとから、いじめの対象になる、上手く友達と関係を作れないことで悩みを抱える子どもと保護者が多いようです。

また、姿勢が悪い、姿勢を保てないことで印象が悪くなったり、本人の疲労やイライラを助長したりすることが悩みとなる場合もあります。

Q.4 「どんな関わりが効果的?」

ひとり一人の身体機能(協調運動、関節可動域、筋の柔らかさ、筋力、眼球の動きなど)の情報をもとに、必要な運動を反復し、環境を調整することで「できた!」という成功体験を積むことができます。自信をつけると、いろいろなことに挑戦できるようになるお子さんがたくさんいます。是非、理学療法士や作業療法士などの専門家に相談してみてください。



◎自家消費野菜等食品放射能測定結果について◎

令和7年3月から5月の3か月間に検査の依頼はありませんでした。検査の報告は3か月ごとに掲載します。(次回は10月号)

※検査には、正確な判定を行うため、食材100グラム以上が必要となります。付いた土(泥)などを洗い流し、食べられない部分はできるだけ取り除いた水分などを含んでいない調理前の材料をご持参ください。
※材料の量や状態などで正確な判定ができない場合や町外産の食材を持参された場合は、参考扱いでの結果報告となりますのでご承知ください。

●問い合わせ先 健康環境課(健康福祉センター内) ☎ 62-2115